

【ヨハネの黙示録第16章】

「そして、その苦しみと、はれものとのゆえに、天の神に対してけがしごとを言い、自分の行いを悔い改めようとしなかった。」 (16:11)

いよいよ16章からは、7つの鉢のさばきがかかります。①悪性の腫物 ②海の水が血になり、いのちある者は皆死ぬ ③川と水の源が血になる ④太陽熱で人が焼け死ぬ ⑤ 暗闇の状態 苦しみの余り舌をかむ ⑥ユーフラテス川が枯れ、悪霊どもが全世界の軍隊をハルマゲドン※1、に結集させる ⑦かつてなかった大地震※2、と雹(ひょう)の災害 このような裁きが来たにもかかわらず、悔い改めることをしないで、かえて神に対してつぶやくどころかけがし事を言い、自分の行いを悔い改めようとしていません。恐ろしいことです。

※1、ハルマゲドンとは、ヘブル語の「ハル・メギト」、ギリシャ語で「アルマゲドン」ともに「メギドの丘」という意味を持っています。このメギドの丘はエルサレムの北方約90^{km}に位置していて、穀倉地帯で奪い合いの戦いの行われた所で、軍事的にも重要な場所です。ここで最終戦争が行われるとされています。

※2、黙示録に3回の地震が載っています。(第1回:6:12 第2回:11:13 第3回がこれ) 今も毎日のように地震が起っています。また今回アメリカからUA組が帰国するのが遅れたことを通して、アメリカで地震を経験し、メッセージで語られたアメリカにおける預言が確かに起こってくることも教えられています。神の激しい怒りは具体的な形であらわされてきます。

この様な災いは旧約時代のエジプトに臨んだ10の災いを思い起こさせます。災いが下って、悔い改めるかに思われてもパロ王は心頑なにしてイスラエルの民をエジプトから出すことを拒みました。しかし、そんな災害の中でも、イスラエル民族は守られ、彼らの所には災いはくだりませんでした。血潮の守りがあったからです。

同じように、患難期にも、厳しい迫害がありますがイエス様を心から信じている聖徒は守られます。殉教していく人もあり、迫害の中で守られる人もありますが、神の愛から離れることはありません。神様は義人の住む所として、最後のきよめをされる為にこの様な裁きが行われるのです。

この神の御怒りの中であまりにも苦しいゆえに、けがし事を言い、悔い改めようとしませんでした。(16:9、11、21)しかし、もし悔い改めるなら、苦しみを通してきよめられ、祝福と変わってゆきます。(悔い改めは神の御心に向きを変える事)

日々私達も悔い改めをすることで、神様の素晴らしいみわざを体験しています。悔い改めと信仰は両輪であり(使徒20:21) 信仰を通して神の右の手は大きく動かされていきます。信仰は神のことばを聞くことから始まります。

「私はぶどうの木で あなたがたは枝です。」(ヨハネ15:5) 共に教会につながって、ブドウの木から霊の糧を受け枝に実をつけて参りましょう。

* 皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意ください。
教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師:D大重 勝裕

SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2014. 4. 13 No. 784

新年のみ言葉

いつも主にあって喜びに満たされなさい。

もう一度言います。喜びなさい。

ピリピ書4章4節

神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

ヨハネ3：16



主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://astone-blog.jp/tlcccfmh/>

